

# よしみ 議会だより

2010  
第120号  
吉見町議会  
2月1日発行  
編集  
議会だより編集委員会  
比企郡吉見町下細谷411  
TEL 0493(54)1511



平成22年吉見町成人式（平成22年1月10日 フレサよしみ）

## 12月定例議会

### 3月定例議会

3月1日(月)

から開催される予定です。

この議会だよりは再生紙を使用しています。

- 期末手当・給料等を減額 … P 2～3
- 請願の審査 … P 4
- 一般質問に5名登壇 … P 5～7
- 視察研修報告 … P 8～9
- 北小学校屋内運動場を視察 … P 10
- 一部事務組合報告 … P 10～11
- 議会日誌、編集後記 … P 12

12月定例議会

# 職員の期末手当・勤勉手当及び 町長・副町長・教育長・議員の 期末手当並びに職員の給料を減額

平成22年4月から

# 町長・副町長・教育長の給料 及び議員の報酬を減額

12月定例議会は、11月30日から12月2日までの3日間の会期で行なわれました。

今定例議会は、町長から提出された条例・補正予算など15議案、請願2件、意見書提出4件の審議が行なわれました。

一般質問については、5名の議員が登壇し、町政全般について活発な議論が展開されました。

## 議案審議結果

### 町長提出議案

議案番号	件名	審議結果
議案第75号	吉見町一般職職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決
議案第76号	吉見町長及び副町長の給与等に関する条例及び吉見町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第77号	吉見町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第78号	企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第79号	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について	原案可決
議案第80号	比企広域市町村圏組合を組織する地方公共団体の数の減少、共同処理する事務の変更及び同組合の規約の変更について	原案可決
議案第81号	比企広域市町村圏組合からの鳩山町の脱退及び共同処理する事務の変更に伴う財産処分について	原案可決
議案第82号	比企ふるさと市町村圏基金出資金に係る権利の放棄について	原案可決
議案第83号	北本地区衛生組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更について	原案可決
議案第84号	平成21年度吉見町一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第85号	平成21年度吉見町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第86号	平成21年度吉見町介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第87号	平成21年度吉見町下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第88号	平成21年度吉見町農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第89号	平成21年度吉見町水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決

### 議員提出議案

発議番号	件名	審議結果
発議第1号	子宮頸がん撲滅のための施策を求める意見書(案)の提出について	原案可決
発議第2号	子どもたちの生命を守るため、ヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチンへの公費助成、定期接種化を求める意見書(案)の提出について	原案可決
発議第3号	改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書(案)の提出について	原案可決
発議第4号	荒川右岸堤（比企郡吉見町蓮沼新田・高尾新田・久保田新田地先）に近接する旧荒川の埋立て及び堤防補強工事を求める意見書(案)の提出について	原案可決

## 主な議案の内容

■議案第75号……………  
吉見町一般職職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

—主な改正事項—

- 人事院勧告等に基づき職員の給与について改正するものです。
  - ・給料表の引き下げ
  - ・期末手当・勤勉手当の年間支給割合を0.35月分の減額 4.5月から4.15月にする。
  - ・持家の住居手当（4,500円）を段階的に廃止（平成22年度＝3,000円、平成23年度＝1,500円、平成24年度から廃止）

■議案第76号……………  
吉見町長及び副町長の給与等に関する条例及び吉見町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例

—主な改正事項—

- 吉見町特別職報酬等審議会の答申に基づき、町長、副町長及び教育長の給料並びに期末手当の支給割合について改正するものです。
  - ・期末手当の年間支給割合を0.3月分の減額 4.45月から4.15月にする。
  - ・給料（平成22年4月1日から）
    - 町長 月額698,000円を月額692,000円に減額
    - 副町長 月額602,000円を月額597,000円に減額
    - 教育長 月額570,000円を月額565,000円に減額

■議案第77号……………  
吉見町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

—主な改正事項—

- 吉見町特別職報酬等審議会の答申に基づき、吉見町議会議員に係る議員報酬額及び期末手当の支給割合について改正するものです。
  - ・期末手当の年間支給割合を0.3月分の減額 4.45月から4.15月にする。
  - ・報酬（平成22年4月1日から）
    - 議長 月額309,000円を月額307,000円に減額
    - 副議長 月額249,000円を月額247,000円に減額
    - 議員 月額232,000円を月額230,000円に減額
    - 委員長 月額244,000円を月額242,000円に減額
    - 副委員長 月額234,000円を月額232,000円に減額

■議案第80号……………  
比企広域市町村圏組合を組織する地方公共団体の数の減少、共同処理する事務の変更及び同組合の規約の変更について

—主な改正事項—

- 比企広域市町村圏組合を組織する市町村から鳩山町が脱退するものです。

■議案第84号……………  
平成21年度吉見町一般会計補正予算（第4号）

既定の予算総額に歳入歳出それぞれ1,204万円を減額し、予算の総額を58億9,680万3千円とするものです。

主な歳入として—

- 町税の法人町民税 △3,620万円
  - 国の障害者自立支援給付費負担金 412万6千円
  - 県の障害者自立支援給付費負担金 206万3千円
  - 新型インフルエンザワクチン予防接種軽減事業費補助金 438万1千円
  - 「よしみん」を活用した地域づくり提案事業補助金 80万円
  - (財)日本容器包装リサイクル協会からの再商品合理化拠出金 450万6千円
- などがあります。

主な歳出として—

- 人件費関係で、吉見町特別職報酬等審議会の答申及び人事院勧告等に基づく給料等の改正に伴うものなど △2,665万2千円
  - 集会所修理費補助金 31万8千円
  - 重度心身障害者医療支給費 200万円
  - 障害者自立支援給付費 825万2千円
  - 国民健康保険特別会計繰出金 3,896万2千円
  - 新型インフルエンザワクチン予防接種費用負担軽減助成金 584万3千円
  - 小・中学校費で新型インフルエンザ予防の消毒薬等の消耗品費 22万2千円
  - 水田農業構造改革対策特別事業補助金 492万円
  - 町道新設改良工事 145万円
  - 財政調整基金積立金 △4,018万8千円
- などがあります。

## 請願の審査について

12月定例議会では、請願2件の審査が行なわれました。

### 請願

- 請願第1号 子ども医療費の窓口払いを廃止することを求める請願  
請願結果＝不採択
- 請願第2号 荒川右岸堤（比企郡吉見町蓮沼新田・高尾新田・久保田新田地先）に近接する旧荒川の埋立て及び堤防補強工事に関する請願  
請願結果＝採択

## 発議について

議員提出議案として、4件の意見書提出について審議が行なわれ、可決し、関係機関に送付しました。

### 発議

○子宮頸がん撲滅のための施策を求める意見書  
意見書抜粋：女性特有のがんの一つであり、100%予防でき、100%早期発見で治すことができる子宮頸がんを撲滅するため、政府においては以下の事項に取り組むことを強く要望します。

- 1 平成21年度補正予算で実施している無料クーポン券による検診を来年度以降も継続実施すること。
- 2 HPV予防ワクチンの接種について公費助成制度を創設すること。
- 3 がん撲滅の啓発のために、10月の乳がん撲滅月間に続けて、11月を子宮頸がん撲滅月間に指定すること。

意見書提出先＝内閣総理大臣、厚生労働大臣、総務大臣

○子どもたちの生命を守るため、ヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチンへの公費助成、定期接種化を求める意見書

意見書抜粋：医療機関においてワクチンの接種が可能となっても、任意接種であるため費用負担が大きくなり、公費助成や定期接種化など、子どもたちの命を守るための早急な対策が必要です。

そこで、細菌性髄膜炎の予防対策を図るために、政府におかれましては次の事項について、一日も早く実現されますよう強く要望いたします。

- 1 Hibワクチンおよび小児用肺炎球菌ワクチン（7価ワクチン）の有効性、安全性を評価したうえで、予防接種法を改正し、Hib重症感染症（髄膜炎、喉頭蓋炎、敗血症）を定期接種対象疾患（一類疾病）に位置付けること。
- 2 ワクチンの安定供給のための手立てを講じること。

意見書提出先＝内閣総理大臣、厚生労働大臣

○改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書  
意見書抜粋：今、多重債務者のために必要とされる施策は、相談体制の拡充、セーフティネット貸付の充実及びヤミ金融の撲滅などである。

そこで、今般設置される消費者庁の所管ないし共管となる地方消費者行政の充実及び多重債務問題が喫緊の課題であることも踏まえ、国に対し、以下の施策を求める。

- 1 改正貸金業法を早期（遅くとも本年12月までに）完全施行すること。
- 2 自治体での多重債務相談体制の整備のため相談員の人件費を含む予算を十分確保するなど相談窓口の充実を支援すること。
- 3 個人及び中小事業者向けのセーフティネット貸付をさらに充実させること。
- 4 ヤミ金融を徹底的に摘発すること。

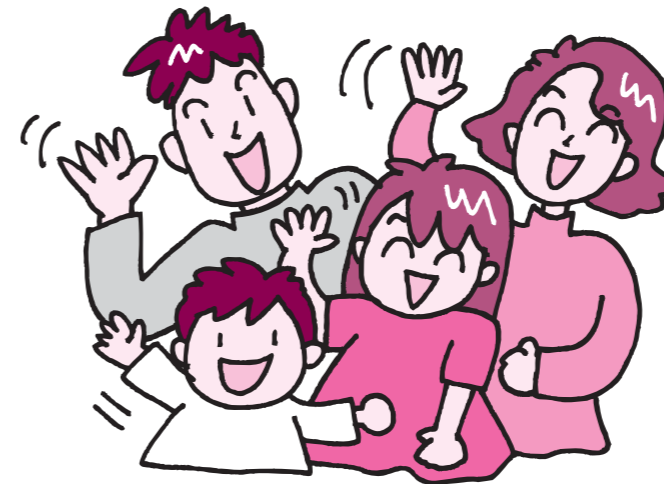
意見書提出先＝衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、多重債務者対策本部長、金融担当大臣、消費者政策担当大臣、厚生労働大臣、総務大臣、国家公安委員会委員長

○荒川右岸堤（比企郡吉見町蓮沼新田・高尾新田・久保田新田地先）に近接する旧荒川の埋立て及び堤防補強工事を求める意見書

意見書抜粋：当該地区の荒川右岸堤については、荒川の増水時において堤防が揺れ、堤防の決壊を危惧するものであります。特にこの堤防に近接して旧荒川がありこの水面が、河川敷地内の民地を侵食し、明日にも堤防を侵食する恐れがあります。

このようなことから、ぜひ地元住民の安全安心の確保による不安払拭のため及び町民の生命財産を守るため旧荒川の埋立て更には堤防補強工事の実現に向け、格別の御配慮を賜りますよう強く要望します。  
意見書提出先＝国土交通大臣

# 町政に対する 一般質問



そこが聞きたい

こうしてほしい

## 少子化対策と地域状況について 保育園建設計画の概要について

神田 隆 議員

問 町の人口推移についてお聞きしたい。

答 吉見町の人口につきましては、平成13年に人口2万2,855人を記録してから、徐々に減少を続け、本年（平成21年）1月には2万2,035人となりました。また、75行政区の中で0歳～14歳以下のお子さんの人数が5人以下の地区は5地区、10人以下の地区は11地区であります。

問 子育てを応援し、子どもを安心して産み育てる環境状況の取り組みについてお聞きしたい。

答 少子化が進行する中、「子どもの笑顔をみんなで支えるまちづくり」を策定し、各種子育て支援事業に取り組んでまいりました。現在、後期計画の策定作業を進めており実効性のある計画を策定し、子どもが産み育てやすい環境づくりに努めてまいります。

問 保育園建設の概要について、検討委員会の進捗状況と検討内容についてお聞きしたい。

答 本年6月「検討委員会」を組織し、延べ4回

にわたり検討いただきました。内容につきましては、施設の老朽化、次世代育成支援に関するニーズ調査をふまえ、施設設備の手法、統廃合のメリット、デメリットなどを検討いただきました。4園を1園に統合した県内保育所の視察を行ない、保育サービスの一層の充実が図られ、運営の効率化、財政効果等も期待できることから1園への統合が適当であり、建設候補地については、「ふれあい広場」に隣接する吉見交番南側の町有地が好ましいとの結論に達し、町長宛に報告いたしました。なお、設計は今年度中に終了し、着工は来年度中に行ないたいと思います。



保育園合同運動会

### 吉見町の年齢構成と今後の課題は

尾崎 豊 議員

問 吉見町の今後の発展を考える時、住民の年齢構成は重要な要素になると考えます。吉見町の15歳未満の割合について。

答 15歳未満の割合は2,727人全体の12.38%です。

問 吉見町の敬老会のあり方について。

答 町と社会福祉協議会の共催事業で毎年開催しています。より多くの方に参加していただけるよう取り組んでいきます。

問 吉見を語ろう12選について。

答 コミュニティ推進部会の企画部会でふるさと吉見の魅力の再発見と、町のイメージアップを十二分に図ることを目的に住民参加で決定していきます。

問 町の入口の整備について

答 県道東松山側に案内板を設置しています。鴻巣市側は、川幅日本一と町をPRするものとあわせ、県と協議して進めていきます。

問 中学校の海外派遣と、今後の受け入れ活動の推進を。

答 人材育成することを目的に継続し、受け入れについては想定されるさまざまな課題を解決する研究を進めます。



吉見町に訪れたドイツ団のみなさん(日独スポーツ少年団同時交流事業)

問 中学校の体育表彰等の記念プレートの作成は。

答 運動、文化面でめざましい活躍をとげています。記念プレート以外の方法も含め、中学校と協議しながら進めていきます。

問 吉見町の子育て前の支援について。

答 現在、結婚相談業務を実施しています。本町でも1組成立しています。今後も吉見町で結婚し子どもを産み育て吉見町の人口増加につながるよう結婚相談事業の充実について支援していきます。

問 町勢状況を見据えて継続可能な巡回バス運行を。

答 特に交通弱者の方々に大切。継続して運行します。



巡回バス「けやき号」

問 国の事業仕分けの結果は、保育園の建設の動向にどんな影響があると思っているのか。

答 影響等全く不鮮明であるが、保育所建設検討委員会の報告を尊重し吉見町らしい保育所整備としたい。

問 児童手当にかわる、子ども手当の内容は不確定だが、いろんなケースを想定し試算を含めた検討は。

答 現行の児童手当では、平成20年度決算児童手当給付金は1億4千万円で、受給資格者は1,660人です。仮に、子ども手当給付事業が所得制限なし、1人当たり13,000円で実施の場合は、約4億5千万円の経費が必要となります。

### 主要事業の早期完成を

公明党 長島 茂 議員

問 国で事業仕分け作業が行なわれ、廃止、削減、見直しの方向が示された。事業仕分けの結果や、不透明の経済情勢が、町税をはじめとした、税収の動向と影響にどう及ぶのか。

答 重要な自主財源であります町税を取り巻く環境は厳しい状況下であり、法人、町県民税等の減収が懸念されるが適正な課税と公平な徴収に取り組めます。

問 従来手法で臨む新年度の予算編成の見通しと、実績を踏まえての留意点は。

答 町内の企業業績もかんばしくなく財源確保が厳しくなるものと考えております。今後の国、県の動向把握に努め予算編成に取り組めます。

問 スタートした東第二地区の農業集落排水事業の見通しと、今後の下水道事業の展望の中で検討の考えは。

答 政府の行政刷新会議で今後の下水道・農業集落排水事業の実施は、各自治体の判断とのことです。不透明な部分も考えられるので今後の状況の中で検討し、柔軟な対応をします。

### 内部障害者・内臓疾患者支援等について

公明党 安孫子和子 議員

問 町では公共施設のトイレに「ハート・プラスマーク」を表示、マタニティマークを含めた障害者用駐車場の利用者拡大、または広報に掲載し、「ハート・プラスマーク」の普及啓発に努めていただいています。社会の中では外見から分からない内部障害や内臓疾患のある方々への無理解で辛い思いをしている方々がおられます。2006年7月の調査では、内部障害者は全国で約107万人で高齢化に伴い年々増えています。認知向上等支援について。



ハート・プラスマーク

### インフルエンザの予防接種に対し町独自の助成を

日本共産党 杉田しのぶ 議員

問 町においてもインフルエンザが猛威をふるっている。県内でも接種費用への独自助成を行なう自治体が徐々に増えてきている。インフルエンザの予防対策、子育て支援の一つとして2回接種が必要とされている希望者に対して接種費用の独自助成を行なうことについて町の見解を伺いたい。

答 現時点では独自助成の予定はないが、今後感染の拡大や重症患者の発生、ウィルスの病原性や薬剤耐性の変化等によっては検討してまいりたい。

問 10月以降インフルエンザ患者が低年齢化して、特に乳幼児の入院や死亡例も出ている。また小児用のタミフルも品薄になってきており、今こそ接種費用の助成の時期にあると思うがいかがか。

答 今すぐに吉見町内で乳幼児が、インフルエンザに罹患して重篤な状態に陥るといふような状況をまだ把握していない。町としてこれは放置できないという状況を察知した段階で考えていく。

問 重症にならないように予防接種をする訳なので、

答 12月から車上用の「ハート・プラスマーク」のシート、携帯用カードの無償配布を始めました。また1月の広報でお知らせし、ホームページにも掲載し普及啓発に努めてまいります。

問 アレルギー疾患の子ども支援について。

日本学校保健会より示された「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」と「学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)」の活用と、教員、保護者、関係者がアレルギーに対する正しい知識を得るための機会の提供についての見解を伺います。

答 養護教諭、保育士等はアレルギー疾患に対する取り組みに関する各種研修会等に参加しており、保育園では参考となる資料があれば保護者に配布しています。「学校生活管理指導表」は県教育委員会の新たな様式の「アレルギー疾患管理指導願い」を検討したい。今後は一般教職員の研修等を計画的に進められるよう検討したいと考えています。

問 水道メーター更新は、計量法に定める8年間の有効期限にできる限り近づけることで経費削減を。

答 検討してまいります。

吉見町内で重症者が発生してからでは遅い。接種費用の助成を行なうことで、一人でも多くの子どもが予防接種ができるように町の助成を行なうべきである。

答 さほど大変なことが考えられるのであれば、まず基本は親が自分の子どもを守るというのが基本であるから、心配されるような場合はなるべく早くに医者に行っていたらと思う。

この他「集会所学級の具体的な内容と参加者の現状、今後の事業のあり方について」、インフルエンザの予防対策として「保育園、小・中学校に加湿器の設置を」についても一般質問を行ないました。



視察研修報告

総務建設常任委員会

宮崎 雄一 委員長

世界遺産を守る防災体制を視察

〔視察日〕 平成21年11月9日(月)
〔視察先〕 岐阜県大野郡白川村

本町の文化財防火活動は、3年に1回消防署、消防団、地域住民が一体となった訓練を実施しています。今後の防災力の向上に資するため、防災まちづくり大賞を受賞した、岐阜県白川村の『地域に根づく「世界遺産」を守る防災体制』を視察しました。

また、本町の水需要は経済成長に伴い順調に伸び続けてきましたが、節水型社会の構築や人口減少などにより若干減少傾向にあります。今後の水道事業の安定運営に資するため、指定管理者制度を導入しました、岐阜県高山市を視察してまいりました。

自分たちの村は、自分たちで守る

白川郷合掌造り集落の世界遺産登録は平成7年で、それ以前は年間60万人前後であった観光客が140万人に増加させ、これに伴い観光関連の施設が急速に進められ、村の産業構造や経済の仕組みを大きく変化させました。また、平成20年7月の東海北陸道全線開通は観光客が185万人達し、豊かな村民生活の享受に貢献しました。

合掌家屋を守るため昭和46年以降、売らない、貸さない、壊さないという三原則を基本とした、保存運動を推進してきています。

合掌造りは火に非常に弱く、出火した場合飛び火により集落全体が焼失する恐れがあるため、1日4回の地区内巡視が住民により実施されています。また、村役場により整備された放水銃等の管理、点検も住民により行なわれています。世界文化遺産登録以前の防災体制について質問したところ「自分たちの村は自分たちで守る」の意識が高く、防災についても登録前・登録後で防災体制に変化はないとのことでありました。白川村民の皆さんの自主防災意識の高さに学ぶところの多い視察でありました。



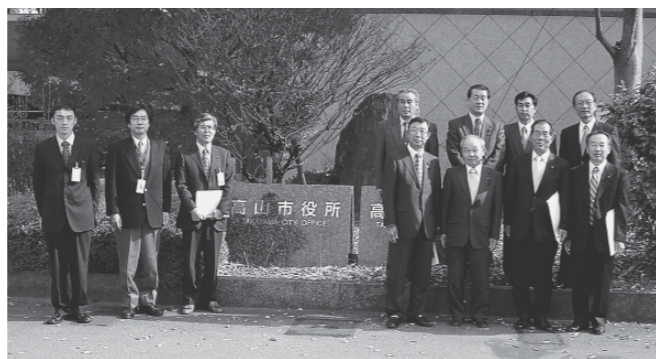
白川郷の合掌造りを守る放水銃

上水道の指定管理者制度を視察

〔視察日〕 平成21年11月10日(火)
〔視察先〕 岐阜県高山市

高山市では経営の安定化を図るため指定管理者制度での運営に切り替える方針であったため、平成18年度より上水道の177施設について導入しています。管理業務委託は取水施設、導水施設、浄水施設、送水施設、ポンプ場等を行なっています。指定管理料は3年間の管理費より算定し、年間3億3千万円とのことでありました。

説明後、次のような質問をいたしました。「指定管理者制度を導入した理由」について、平成18年度から公の施設に対し、導入を決定したため、水道施設も指定管理者制度での運営を行ないました。次に「導入した経緯」について、平成13年7月の水道法改正により水道管理に関する技術上の全部、または一部を第三者に委託することが可能となり、市民サービスの向上、地域の活性化、コストの縮減、民間活力によるレベルアップ等を図るため導入を決定しました。次に「導入後の職員体制」について、導入後は13名の減員です。次に「導入して変わった点は何か」について、コスト面で年間3千万円の削減ができたとのことでした。以上報告といたします。



岐阜県高山市役所

視察研修報告

教育福祉常任委員会

柳谷 泉 委員長

安八町立中央保育園を視察

〔視察日〕 平成21年10月27日(火)
〔視察先〕 岐阜県安八郡安八町

本町においても、少子化の背景や対策についてさまざまな議論が行なわれております。また町立保育園の建て替えに向けて進んでおります。そのようなことを踏まえ、さまざまな子育て支援事業に取り組むとともに、木造で大規模保育園を建設し運営している安八町立中央保育園を視察しました。

また町では、介護保険法改正により、高齢者が介護状態になるのを防ぐ介護予防が、地域支援事業として取り入れております。そこで高齢者の介護予防や認知症防止に取り組む恵那市明智回想法センターを視察しました。

本町の事業をより一層進めるための一助として実施いたしました。

少子化対策の充実 ~まちづくりは人づくり~

安八町の主な子育て支援事業

- 「施設の充実」町内6園の保育園のうち2園と小中学校を子どもたちが四季を感じ、アレルギー対策に配慮して、木造で大規模改修
「学校給食費助成制度」小中学校第3子目は半額、第4子目以降全額を助成
「子ども医療費助成」入・通院の医療費中学3年修了まで、またその他、「出産祝金制度」、「チャイルドシート購入補助及び無料貸出し制度」、「通学用かばん購入補助制度」、「特定不妊治療費助成制度」等さまざまな子育て支援充実を図っている町でした。

また、もう一つの視察目的として大規模の町立保育園は、定員が230名で、日本の風土にあった木造建築とし、木の温もり、香り、やさしさを体感できることを目的として建設されたとのことでした。庭には、地下水を利用した小川、起伏に富んだ築山があり「ちびっこ自然の森」が整備されていました。大規模運営については、子どもが多いことで活気が生まれ、お互いに切磋琢磨され、多くの人数の中で受ける刺激も必要とのことでした。



岐阜県安八町立中央保育園

明智回想法センターを視察

〔視察日〕 平成21年10月28日(水)
〔視察先〕 岐阜県恵那市

回想法とは、高齢者が過去を振り返り、これまでの出来事や出会った人々、かつての遊び、学び、情景、生活道具、食べ物、歌、音など、さまざまな思い出を語り合って過ごす有意義なひと時を支えるのが回想法だとのことでした。回想することは、心地よく楽しいもので、自分の思いを語り、お互いに共感し合うことによって心のきずなが深まります。また、若い世代への伝承の役割を担うことにより、社会参加の機会も増え、高齢者の脳を活性化し、いきいきとした生活につながります。これらの活動は、高齢者の閉じこもりや介護予防、認知症予防に医学的にも認知機能に及ぼすプラス影響が報告されています。

明智回想法センターの平成20年度の利用状況は、284件、3,335人の利用とのことでした。また、今までに回想法スクールを約10人1組で、8回開催し、83名の回想法スクールの卒業生で組織する「げんきかい」は、自分たちで事業を企画し、積極的に活動しているそうです。

心の健康の重要性を再確認した視察でした。



岐阜県恵那市明智回想法センター視察の様子

閉会中の所管事務調査報告

教育福祉常任委員会  
柳谷 泉 委員長

北小学校屋内運動場を視察

〔調査日〕平成21年11月13日  
〔調査先〕吉見町立北小学校屋内運動場

体育館の管理用通路の手すりを取り付けてある鉄骨部分に膨らみができているとの指摘があり、このことについて担当課に確認したところ、町においても把握しているとのことで、対応については既に、設計会社、施工業者と協議を進めており、完成後の視察も行なわれていないことから実施しました。

現場視察後、役場4階委員会室に戻り、質疑に入りました。主な質疑を中心に報告いたします。

問 手すりの鉄骨プレートの膨らみをどのように改修するのか。

答 膨らみの原因は、熱膨脹によるものであり、改修方法として、膨らんだ部分が大きい3か所をカッターで切断し目地を入れ、その後アンカーボルトで

固定したいと考えており、他についても、一定のSPANごとに同工法で対応していきます。

問 1年瑕疵検査の結果、不具合がある場合は、どこまでが業者持ちなのか。

答 不具合のある部分は、業者が無償で対応します。他にコンクリート部分や手すりの笠の部分等の質疑がありました。また今回の視察で指摘した所を含め、1年瑕疵検査までに今一度精査してもらいたい、今後もこのようなことが起きた場合には、今回同様早急に対応してもらいたいと要望しました。



北小学校屋内運動場視察の様子

一部事務組合報告

埼玉中部環境保全組合議会定例会

荻野 勇 議員

期日 平成21年10月23日 午前9時から

場所 埼玉中部環境センター会議室

吉見町議会から小柳幸一郎副議長、内野正美議員、神田隆議員、荻野勇の4名が出席いたしました。

はじめに、管理者から運転状況及び事務の執行状況について報告がありました。

平成21年4月から9月末までの上期、管内ごみ処理量は、可燃ごみと粗大ごみ合わせて20,095.08トンであり、前年度同期と比較して869.4トン、4.15%の減であります。このほかに小川地区衛生組合からの受託ごみ1,162.74トンの可燃ごみを処理しております。

次に施設の運転管理につきましては、良好な運転管理業務を継続しており、点検整備等も現在、順調に点検作業が進んでいるとのことであります。

また付議された議案は5議案であります。

○議案第6号 埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について

○議案第7号 埼玉中部環境保全組合職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

○議案第8号 埼玉中部環境保全組合施設整備基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例

○議案第9号 平成21年度埼玉中部環境保全組合一般会計補正予算(第1号)

○議案第10号 平成20年度埼玉中部環境保全組合一般会計歳入歳出決算認定について

以上、上程されました5議案とも慎重審議のうえ、原案のとおり可決、承認されました。

北本地区衛生組合議会定例会

安孫子和子 議員

期日 平成21年11月5日 午前9時から

場所 北本地区衛生組合議場

吉見町議会から岩崎勤議員、杉田しのぶ議員、安孫子和子の3名が出席いたしました。

○議案第12号 埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について

加須市が新規加入するため、規約の変更を行なうものです。

○議案第13号 平成21年度北本地区衛生組合歳入歳出補正予算(第1号)

既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2,345万円を追加し、歳入歳出予算の総額を4億6,477万1千円とするものです。

補正の主な内容は、歳入の分担金及び負担金の交付税算入負担金、6万6千円増額するもので、地方

交付税算入額の調整率の確定によるものです。繰越金は、平成20年度歳入歳出決算額の確定により、前年度繰越金を2,338万4千円増額するものです。

歳出につきましては、総務費の一般管理費の積立金を2,345万円増額し、歳入歳出予算の収支の均衡を図るものです。

提出された2議案は、原案のとおり可決されました。

市町別処理状況につきましては、平成21年1月から9月までの前年同月との比較から動向を見ると、菖蒲町、北本市、鴻巣市、吉見町の順で減少しており、吉見町は91.78klの減少でした。

比企広域市町村圏組合議会臨時会

尾崎 豊 議員

期日 平成21年11月27日 午前10時から

場所 東松山市議会議場

吉見町から小林周三議長、尾崎豊の2名が出席いたしました。管理者より上程されました議案は6議案です。

○議案第26号 財産の取得について

小川消防団第1分団第2部に更新配備する水槽付消防ポンプ自動車を購入することについての議決です。

○議案第27号 埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について

本議案は、埼玉県市町村総合事務組合からの依頼議案で、同組合の規約の一部を変更するものです。

○議案第28号 比企広域市町村圏組合一般職職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定につ

いて

○議案第29号 平成21年度比企広域市町村圏組合一般会計補正予算(第1号)について

○議案第30号 平成21年度比企広域市町村圏組合消防特別会計補正予算(第2号)について

○議案第31号 平成21年度比企広域市町村圏組合介護認定及び障害程度区分審査会特別会計補正予算(第1号)について

いずれの会計も職員の給与改定に伴う補正が主たる内容であります。

以上、上程されました議案につきましては慎重審議の結果、原案のとおり可決されました。

町議会を傍聴してみませんか

次の議会は

3月定例議会

3月1日(月)から開催される予定です。

詳しいことは町議会事務局までお問い合わせください。

TEL 0493 (63) 5024



議 会 日 誌

月 日	件 名
H21. 9.12	平成21年度吉見中学校体育祭
13	吉見町商工会「会員研修会」
18	第4回埼玉県パークゴルフ大会
19	平成21年度町内各小学校運動会
21	第59回吉見町敬老会
24	埼玉県議会主催「議員政策研修会」
26	吉見町立保育園合同運動会
27	よしみ幼稚園運動会
30	議会だより編集委員会
10. 4	第53回吉見町民体育祭
7	第15回東松山警察署管内地域安全大会 並びに東松山地区暴力排除推進大会
9	議会だより編集委員会
15	第19回吉見町老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会
15	茨城県境町議会産業建設委員会来町 「農業集落排水事業の取り組み状況について」の視察研修
16	平成21年度町村議会議員研修会
17	第9回よしみコスモスまつり開会式
18	下細谷「ささら獅子舞祭」
19	議会だより編集委員会
22	愛知県幡豆町議会議会運営委員会来町 「一般質問の一問一答方式等について」の視察研修
27	教育福祉常任委員会視察研修
27~28	平成21年度吉見町農業委員会県外研修

月 日	件 名
10.29	第7回人権政策フォーラム 第10回埼玉県知事要請行動
29	教育委員歓送迎会
30	第21回全国生涯学習フェスティバル 「まなびピア埼玉2009」総合開会式
31	第28回東松山警察署管内少年剣道大会
11. 3	吉見町商工祭
3	第38回吉見町文化祭
3	第24回吉見音頭（踊）発表会
6~7	平成21年度吉見町区長会研修
8	吉見消防団消防特別点検
8	吉見消防団消防特別点検に伴う懇親会
9~10	総務建設常任委員会視察研修
11	第53回町村議会議長全国大会
15	第27回西公民館まつり
15	オカリナ演奏会
16	全員協議会
19	比企広域市町村圏組合議会組合市町村 選出議員代表者会議
20	議会運営委員会
21	平成21年度吉見農業祭
24	大里比企広域農道整備事業推進協議会 平成21年度先進地視察
27	比企広域市町村圏組合議会臨時会
29	第9回町長杯争奪グラウンドゴルフ大会

編 集 後 記

新年を迎え新たな気持ちで毎日をお過ごしのこととお慶び申し上げます。昨年は、先行きの不安が人々の足元をすくませ出口の見えにくい一年でした。今年は寅年です。十二支では3番目、時刻については一説に午前4時からの2時間をいう、とあります。大変に厳しい時間ですが、夜が明ける前が一番暗いそうです。でも夜明けはすぐそこです。夢見る力を大きく持って明るい吉見町を考えていきましょう。

親しまれる議会だよりの発行に努めていきます。

議会だより編集委員会

- 委員 長 内 野 正 美
- 副委員 長 尾 崎 豊
- 委 員 小 林 周 三
- 委 員 小 柳 幸 一 郎
- 委 員 宮 崎 雄 一
- 委 員 神 田 隆